

平成 27 年度日本植物病理学会関西部会のお知らせ

平成 27 年度関西部会開催地委員長 網田克明

平成 27 年度日本植物病理学会関西部会を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

I. 日程と会場（時刻は予定です）

- ・日時：平成 27 年 9 月 29 日（火） 13：00～14：00 総会
14：30～18：00 一般講演
18：30～20：30 情報交換会
- 平成 27 年 9 月 30 日（水） 9：30～12：30 一般講演

- ・会場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
〒770-0835 徳島県徳島市藍場町 2 丁目 14 番地 (<http://www.kyoubun.or.jp/>)
- ・情報交換会会場：阿波観光ホテル
〒770-0833 徳島県徳島市一番町 3-16-3 (<http://www.awakan.jp/>)

II. 参加申込

- ・締切：平成 27 年 8 月 7 日（金）
- ・費用：参加費 3,500 円（講演要旨集代含む、締切日以降は 4,500 円）、講演要旨集のみ 1 部 2,500 円、情報交換会費 6,000 円（学生 3,000 円）
- ・要領：同封の郵便振替払込取扱票（口座番号：01600 5 41746, 加入者名：平成27年度植物病理学会関西部会事務局）（他行からの振込みをされる場合は、店名：一六九店, 当座, 口座番号：0041746）に必要事項を記入し、締切日までにご送金ください。払込用紙の通信欄のコピーを、領収書・講演要旨集などの宛先ラベルとして使いますので、送り先・氏名などは正確に記入して下さい。郵便振替払込取扱票による送金をもって部会参加の申し込みとします。整理の都合上、払込用紙は参加者 1 名ごとに 1 枚をお使いください。払込用紙をさらに必要とされる場合は、郵便局に備え付けの用紙をご利用ください。参加を申し込まれた方には、9 月上旬に講演要旨集ならびに名札をお送りします。この名札は領収書を兼ねますので、部会参加期間中は必ず携行してください。

III. 発表申込

- ・締切：平成 27 年 8 月 7 日（金）17：00
- ・要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員（平成 27 年度会費納入者）で、1 人 1 題のみとします。発表希望者は、末尾「講演要旨原稿作成要領」に従って講演要旨原稿を MS Word ファイルで作成し、E-mail 添付ファイルとして関西部会プログラム担当用アドレス（byori-kansai2015@mail.pref.tokushima.lg.jp）宛にご送付下さい。E-mail の題名（件名）は、「要旨」+「:」+「発表者氏名」として下さい。また、添付ファイル名は「発表者氏名.doc」として下さい。原稿が正しく受け付けられた場合には、受け取りの

メールを送付者宛に返送します。受け取りのメールは 1~3 日で送付しますが、届かない場合は正しく受け付けられていない可能性がありますので再送付して下さい。講演要旨原稿送付をもって発表の申し込みと致します。なお、講演要旨は座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

IV. 発表の形式と要領

- ・発表形式：今年度の部会での発表は口頭のみで行います。ポスター発表は行いません。
- ・口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて 12 分程度を予定していますが、演題数によって変更することがあります。発表用ファイルは、前もって必ず Windows 版「PowerPoint 2010 または 2013」で正常に表示されることをご確認ください。ウイルスチェックをお済ませの上、CD-R または USB メモリーに保存してください。ファイル名はすべて半角で「講演番号-発表者姓.pptx」として下さい（例「123-Yonemoto.pptx」）。ファイルは大会初日に各講演会場の受付にお渡しいただき、その場でファイルのコピーと動作確認をして下さい。お持ちいただいた CD-R、USB メモリーはその場でお返しいたします。また、重いファイルはパソコンの動作に不具合をきたすことがありますので、できるだけ軽いファイルにしてください。

V. 宿泊と交通

開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋は行いませんので、各自で手配をお願いします。JR 徳島駅周辺に多数あるホテルの大部分は会場まで徒歩圏内です。会場までの公共交通機関（バス）・タクシー・レンタル自転車等もあります。

<会場までのアクセス>

【徳島駅より】・徒歩 8 分

【JR 徳島駅への交通アクセス】

(1) 東海・中部地区から

新幹線で「新神戸駅」へ。「新神戸駅」からは高速バスで「JR 徳島駅」前へ。なお、バスはジェイアール四国バス株式会社 (<http://www.jr-shikoku.co.jp/bus/>) が運行する高速バスがご利用になれます。

(2) 北陸・近畿地区から

電車等で「JR 大阪駅」、「JR 三宮駅、あるいは阪急三宮駅」、もしくは「なんば高速バスターミナル」へ。それぞれからは高速バスで「JR 徳島駅」前へ。バスはジェイアール四国バス株式会社 (<http://www.jr-shikoku.co.jp/bus/>) と徳島バス株式会社 (<http://www.tokubus.co.jp/>) が運行する高速バスがご利用になれます。それぞれの運行会社ごとに乗り場が異なりますので、必ず事前にウェブサイト等でご確認ください。

(3) 中国地区から

新幹線、電車等で「JR 岡山駅」へ。「JR 岡山駅」から「瀬戸大橋線」、「高德線」で「JR 徳島駅」へ。

(4) お車で

【徳島インターチェンジより】・車で 20 分



【駐車場】

会場周辺に駐車場はたくさんあります。ウェブ等でご確認ください。また、会場近くの藍場町地下駐車場では平日は3時間以上で、1日1,000円（午前7時～午後11時まで）となっています。ご確認ください（<http://www.pref.tokushima.jp/kigyoukyoku/parking/aiba/>）。

VI. 連絡先

平成27年度関西西部会に関する各種お問い合わせは、開催地事務局（米本謙悟）へお願い致します。講演発表の申し込みはプログラム担当（田村 収・犬伏要輔）までお願い致します。

- ・平成27年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局および関西西部会プログラム担当
〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井 1660 徳島県立農林水産総合技術支援センター
TEL : 088-674-1967 (直通) FAX : 088-674-3114
E-mail : byori-kansai2015@mail.pref.tokushima.lg.jp

講演要旨原稿作成要領

昨年度と同じです。

<全体の大きさ> 和文講演者氏名から所属略称までが、縦 73mm, 横 161mm の枠に収まるようにする。1つのファイルに収める講演要旨原稿は1つとすること。

<ページ設定>

- ー用紙サイズ : A4 用紙, 縦方向.
- ー余白 : 上 15mm, 下 30mm, 左 25mm, 右 25mm.
- ー文字数と行数 : 「文字数と行数を指定する」を選択し, 文字数 50, 字送り 9pt, 行数 51, 行送り 14pt にする.

<配置> 両端揃え (所属略称のみ右端揃え)

<フォント>

- ーフォントサイズ : すべて 9pt .
- ー日本語用フォント : 平成明朝または MS 明朝 (但し和文題目のみ平成角ゴシックまたは MS ゴシック)
- ー英数字用フォント : Times New Roman. すべて半角.
- ー句読点 : 「,」「。」
- ーイタリック指定 : 題目, 本文中とも, 学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記.

<和文講演者氏名> (1行) 講演者が複数の場合は中点「・」で区切り, 発表者名の前に丸印「○」をつける。所属が異なる場合には, 上付き番号「¹」「²」で区別する。

<和文題目> (2行以内) フォントは平成角ゴシックまたは MS ゴシックとする。

<英文講演者名と英文題目> (2行以内) 氏名は, family name, first name initial, middle name initial の順に書き, initial の間にはスペースを空けない。講演者名と英文題目の間は, コロン「:」で区切る。

<本文> 9行以内で記載する。

<所属略称> (1行) 括弧「()」に入れ, 右端揃えとする。複数の場合は中点「・」で区切り, 和文講演者氏名に対応させて上付き番号「¹」「²」をつける。

講演要旨原稿の下に、以下の情報を記入する。

- (1) 発表希望分野 (「糸状菌病」「細菌病」「ウイルス・ウイロイド」「その他」の中から1つ選ぶ)
- (2) 発表内容 (「分類・同定・診断」「発生生態」「感染生理」「防除」「その他」の中から1つ選ぶ)
- (3) 対象植物 (和名または学名で示す)
- (4) 対象微生物 (和名または学名で示す)
- (5) 原稿送付者の氏名
- (6) 原稿送付者の E-mail address
- (7) 発表者の学会会員番号 (会員番号は封筒の宛名シールに記載されています。平成 27 年度会費未納の方は、至急会費をお支払いください。)

講演要旨原稿の例

(実際の大きさです。点線枠は要旨集に掲載される範囲を示すもので、印字の必要はありません。)

○米本謙悟・田村 収・石川浩一¹・渡邊丈夫²

野外雑草およびネギ類トラップを利用したアイリスイエロースポットウイルスに対する発生予察方法の検討
Yonemoto, K., Tamura, O., Ishikawa, K. and Watanabe, T.: Study of Forecasting Method of Iris yellow spot virus Used by Weeds and Allium Trap.

2010 年、徳島県でアイリスイエロースポットウイルス (IYSV) によるネギえそ条斑病の侵入が確認され、今後、被害拡大の恐れがある。IYSV の侵入および拡大を防ぐには早期発見が重要であるため、その迅速な発見手法として、圃場周辺雑草等およびネギ類トラップ利用による IYSV 発生予察方法を検討した。その結果、徳島県内の IYSV 発生圃場周辺から採集した雑草 15 科 36 種、延べ 676 検体の内、オランダミミナグサ 1 検体から IYSV 感染を確認した。しかし、雑草中のネギアザミウマ保毒虫率を調査したところ、33.3%と高かった。よって、雑草は IYSV 感染率が低く、発生予察植物には適さないと考えられた。次にネギ、タマネギおよびニラのネギ類苗トラップを検討した。圃場周辺へ苗トラップ設置し、約 7 日間隔で回収、人工気象器内で発病を促した結果、特にタマネギ苗で明瞭な病斑が形成され、DAS-ELISA 法でも IYSV が検出された。また、設置期間が長いほど感染株率が高くなる傾向であった。以上の結果から、IYSV 発生予察にはタマネギ苗をトラップ植物として利用することが有効と推察された。

(徳島農技支セ・¹近中四農研・²香川農試)

- (1) ウイルス・ウイロイド
- (2) 発生生態
- (3) ネギ
- (4) アイリスイエロースポットウイルス
- (5) 米本謙悟
- (6) xxxxx@xxx.tokushima.lg.jp
- (7) 123456